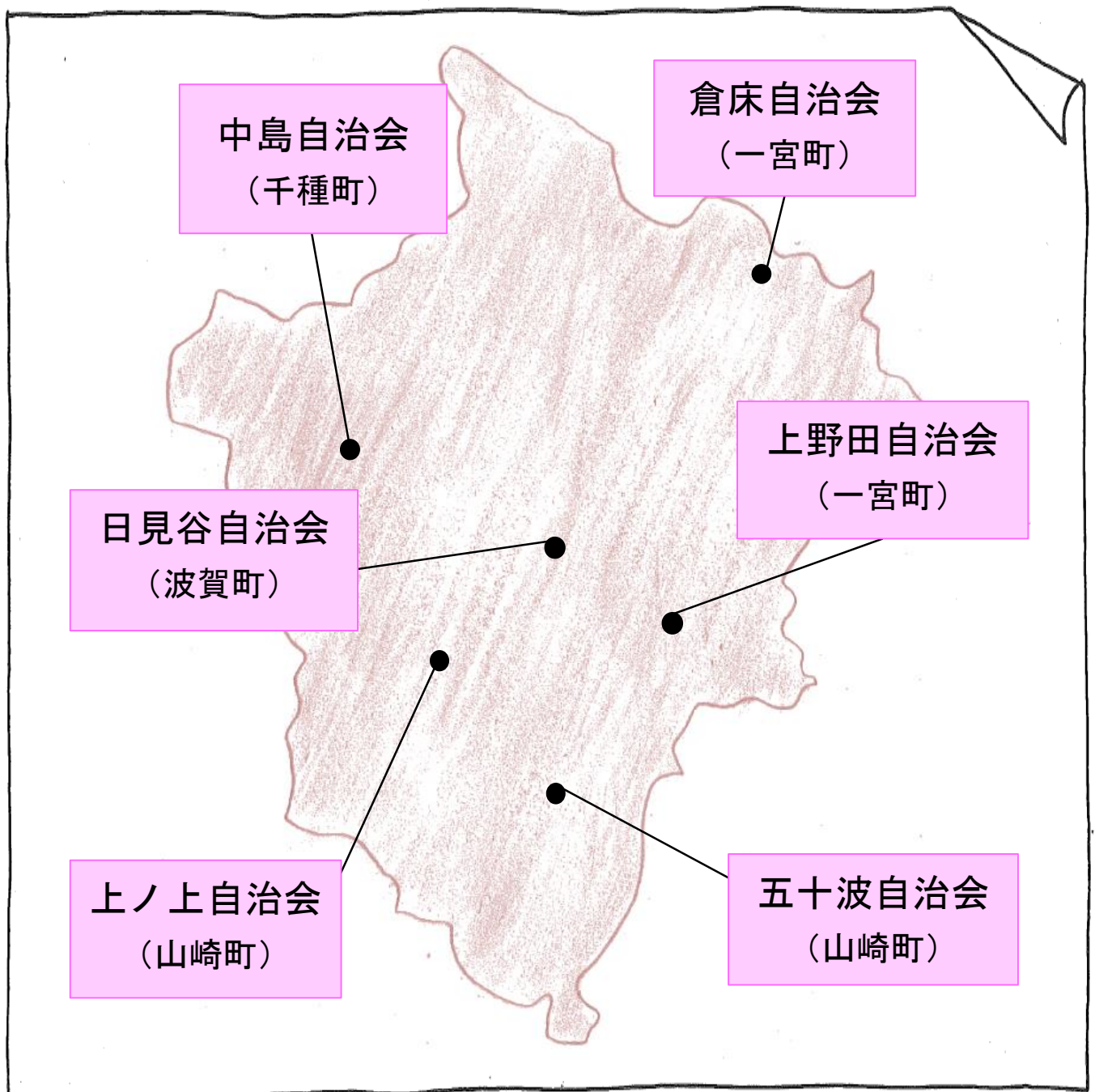


小地域福祉活動
第2期モデル地区指定事業
中間報告書（26年度）

平成26年度～27年度



ま え が き

宍粟市社協では、第2次地域福祉推進計画（平成23年度～27年度）の中で、『自治会域での福祉のつながりづくりを進める』ことを目標に掲げ、平成24年度から小地域福祉活動モデル地区指定事業に取り組んでいます。

第1期モデル地区事業（平成24年度～25年度）では、市内6自治会（鶴木、宇原、西深、福野、原、西河内）を指定し、自治会における福祉活動が住民主体で継続した活動となるよう、その地域の実態に合わせた活動や組織づくりを進めました。

そして、26年度からは、第2期モデル地区事業（26年度～27年度）として、あらたに市内6自治会（五十波、上ノ上、上野田、倉床、日見谷、中島）を指定し、住民による主体的な見守り活動を進めています。

中間報告書では、26年度におけるそれぞれの自治会の取り組みを紹介しています。この報告を通して、27年度に福祉活動を推進しようとする方や既に活動をされている方々（福祉委員、自治会役員、民生委員児童委員、ボランティアなど）が、小地域福祉活動を進めていく上でのヒントにいただければ幸いです。

平成27年5月

宍粟市社会福祉協議会 地域支援課

見守りは、まずは知り合って、つながることから。ふれあい喫茶やサロンなどの交流活動は、見守りを進める第一歩です。また、地域の困りごとや気になる人について、福祉連絡会や住民同士で、話し合ったり学んだり一緒に考えることで、**地域から孤立する人をなくすつながりづくりを進めましょう。**



小地域福祉活動
第2期モデル地区指定事業
も く じ



■活動実践報告

◆五十波自治会	1
◆上ノ上自治会	2
◆上野田自治会	3
◆倉床自治会	4
◆日見谷自治会	5
◆中島自治会	6

五十波自治会【山崎町】

2年間の活動目標

自治会の中で「福祉連絡会」の位置づけをさらに高めたい。具体的には、ご近所ボランティア活動（e生活応援し隊）を通じて、高齢者世帯の生活支援活動等を日常的に行うとともに、ふれあい喫茶、サロン活動、学習会など、活動の輪を広げ、福祉活動の輪を地域全体に広げていきたい。



ひとり暮らし高齢者宅周辺の草刈り～e生活応援し隊～

福祉連絡会（組織づくり）

- ・ボランティア団体 2人
（内1人連絡会代表）
- ・代表福祉委員 ・自治会長
- ・民生委員児童委員
- ・民生児童協力委員 2人
- ・福祉委員 7人
- ・老人クラブ会長
- ・女性会
- ・子ども会

福祉連絡会のメンバーは17人で構成

【人 口】	【世帯数】	【高齢化率】
694人	232世帯	25.4%

※人口等は26年9月末現在です。

《26年度の主な活動》

- 連絡会議の開催・・・定例会議（年4回）、推進会議（計画づくり、情報交換等 年12回）
- 高齢者の見守り・・・配布物を届ける時やご近所ボランティアの活動の際に高齢者等を訪問
- 住民福祉学習会・・・「買え買え詐欺に気を付けて！（宍粟市消費生活センター）」 意見交換等
- 交流活動・・・ふれあい喫茶（年3回）、ふれあいサロン（年3回）を実施
- ご近所ボランティア活動（e生活応援し隊）・・・春の天満宮や盆踊りにひとり暮らし高齢者招待、ひとり暮らし高齢者宅周辺の草刈り・ゴミ出し・掃除等、ご近所ふれあい市（年2回）

活動の総括～成果や課題等～

サロン・喫茶・ご近所ふれあい市等を通じ、多岐にわたり活動することが出来た。ひとり暮らし高齢者に接し、また、農家の方々にご協力をいただく事により活動の輪が広がつつある。27年度は、地域のニーズをより掘り起こし、自治会の中で『福祉連絡会』の輪をより強いものにしたい。自助・公助・共助の三位一体となり、次世代にも協力してもらえらる組織づくりを考えている。



「ご近所ふれあい市」で住民同士のふれあいを

上ノ上自治会【山崎町】

2年間の 活動目標

福祉連絡会の組織の見直しをし、高齢者への声かけ、見守り活動を進めてく。少子高齢化が進む中で、住民同士の絆を深めることを目標として、世代交流活動の場を増やす。



見守りや支え合いについて学習会～ふれあいサロン～

福祉連絡会（組織づくり）

- ・自治会長（連絡会代表）
- ・代表福祉委員
- ・民生委員児童委員
- ・民生児童協力委員
- ・主任児童委員
- ・婦人部長
- ・婦人部副部長
- ・会計（副自治会長）
- ・老人クラブ3役
- ・隣保長 7人
- ・子ども会（代表、女性代表）

福祉連絡会の
メンバーは
20人で構成

【人口】	【世帯数】	【高齢化率】
192人	77世帯	45.3%

※人口等は 26年9月末現在です。

《26年度の主な活動》

- 連絡会議の開催・・・計画づくり、新しい事業の打合せ、課題の共有、反省会等（年5回）
- 高齢者の見守り・・・ひとり暮らし高齢者等への訪問（行事の呼びかけ、配布物、話し相手等）
- 住民福祉学習会・・・「ご近所ボランティアについて（宍粟市社会福祉協議会）」意見交換等
- 交流活動・・・ふれあい喫茶（年6回、内1回一住民福祉学習会と合わせて開催）を実施
- 老人会と子どもの交流・・・昔あそびで交流、室内スポーツゲーム（年2回）

活動の総括～成果や課題等～

高齢化が進み、地域のつながりが希薄になってきつつあるので、まずは交流の機会を増やすことを計画した。地域の高齢者と子どもが交流する機会でもでき好評だった。新たな会を計画、開催する中で、大勢の協力があり、新たな繋がりが出来たことは大きな成果となっている。ふれあい喫茶は良い憩いの場となっているが、家にこもりがちな高齢者を誘い出すことが課題である。



地域の高齢者と子どもの交流を増やしていきます

上野田自治会【一宮町】

2年間の活動目標

福祉委員を中心とした「福祉連絡会」の組織をつくり、高齢化の中で住民同士が助け合う元となる会としたい。福祉活動については、自治会各関係者と協力し、住民全体が活動や行事に参加してもらえるよう計画的に進めていきたい。また、行事や活動を通してより強い地域の絆を構築したい。



映画を通したふれあいの場を提供～上野田映画館～

福祉連絡会（組織づくり）

- ・代表福祉委員（連絡会代表）
- ・自治会長 ・副自治会長
- ・福祉委員 3人 ・民生委員児童委員
- ・民生児童協力委員 2人
- ・老人クラブ会長
- ・生涯学習委員長
- ・スポーツ委員長

福祉連絡会のメンバーは12人で構成

【人 口】	【世帯数】	【高齢化率】
143人	47世帯	35.7%

※人口等は26年9月末現在です。

《26年度の主な活動》

- 連絡会議の開催・・・打合せー各種団体、年間計画、福祉盆踊、ふるさと祭り等（年5回）
- 高齢者の見守り・・・ひとり暮らし高齢者等への訪問（ふれあい喫茶や行事打合せ等で情報収集）
- 住民福祉学習会・・・人権学習会への参加、各種団体打合せでの意見交換（人口予想、将来像）
- 交流活動・・・ふれあい喫茶（年6回、盆踊りやふるさと祭り等、行事に合わせた開催）を実施
- 上野田映画館・・・巡回映画上野田版（4回）、いきいき100歳体操の支援（週1回）
独身男女の出会いの場づくり

活動の総括～成果や課題等～

年度当初に各種団体による会議を開催し、趣旨を共有できたことにより順調に進めることができた。上野田映画館については、テレビ画面では得られない味があり、今後も支援していきたい。27年度も各種団体が協力しながら進め、映画館については他の自治会からの参加も呼びかけたい。福祉研修会については、肩の張らない、ふれあい喫茶を利用した研修ができればと考えている。



「住民同士のつながりづくりをしたい！」

倉床自治会【一宮町】

2年間の 活動目標

自治会役員及び福祉委員を中心とした組織をつくり福祉連絡会の位置づけをきちんとしたい。福祉活動については、連絡会議で話し合い、自治会のみんなが参加できる活動を進めたい。学習会においても学習委員と協力してふれあい喫茶の場で設けたい。



「感謝の気持ちで続けています」～感謝のつどい～

福祉連絡会（組織づくり）

- 自治会長（連絡会代表）
- 副自治会長
- 福祉委員 4人
- 民生児童協力委員
- 老人クラブ会長
- 学習委員
- 隣保長 5人
- 代表福祉委員
- 民生委員児童委員

福祉連絡会の
メンバーは
16人で構成

【人口】	【世帯数】	【高齢化率】
108人	47世帯	41.7%

※人口等は26年9月末現在です。

≪26年度の主な活動≫

- 連絡会議の開催・・・計画づくり、モデル地区の説明、感謝のつどい打合せ、反省会等（年4回）
- 高齢者の見守り・・・ふれあい喫茶を通じての安否確認、自治会役員・福祉委員の定期的訪問
- 交流活動・・・ふれあい喫茶（年9回）を実施
- 感謝のつどい・・・民生委員児童委員、福祉委員、老人会の協力により、ひとり暮らしと80歳以上の高齢者を招待

活動の総括～成果や課題等～

「感謝のつどい」は、毎年楽しみにしておられる方が多く来年度も計画したい。モデル地区としての行事課題についてもっと話し合いが必要である。自治会役員を中心として福祉連絡会の中で何を重点にするか考えていきたい。その中で、自治会住民全員が参加できる交流事業や26年度計画できなかった学習会を学習委員と協力しながら進めていきたい。



自治会のみんなが参加できる活動を進めます

日見谷自治会【波賀町】

2年間の活動目標

福祉委員を中心に「福祉連絡会」の組織をつくり、自治会の中で福祉活動の事業を定着化させたい。福祉連絡会の関係者で話し合いながら、たくさんの方が活動や行事に参加してもらえるよう進めたい。また、ご近所ボランティアについても検討し、学習会や試行実施を行うなど、活動の幅を広げていきたい。



みんなが集うサロンへ～ふれあいサロン～

福祉連絡会（組織づくり）

- 自治会長（連絡会代表）
- 代表福祉委員
- ふれあい喫茶責任者 2人
- 民生委員児童委員
- 福祉協力委員 2人
- 自治会議員 6人
- 副自治会長

福祉連絡会のメンバーは14人で構成

【人口】	【世帯数】	【高齢化率】
140人	41世帯	29.3%

※人口等は26年9月末現在です。

《26年度の主な活動》

- 連絡会議の開催・・・計画づくり、学習会打合せ、サロン打合せ、反省会等（年4回）
- 高齢者の見守り・・・ひとり暮らし高齢者等への福祉委員の訪問（喫茶、座談会、行事等）
- 住民福祉学習会・・・ご近所ボランティアについて住民同士で話し合い
- 交流活動・・・ふれあい喫茶（年4回）、ふれあいサロン、コスモス祭りを実施
- 住民の意識調査・・・ふれあいサロンに関するアンケートを実施

活動の総括～成果や課題等～

福祉委員を中心に「福祉連絡会」の組織をつくり、関係者と話し合いながら活動が進められた。住民同士の交流の場として計画した「コスモス祭り」も、子どもからお年寄りまで大勢の参加があり、「ふれあいサロン」も初めて計画し室内スポーツを行った。27年度は、住民福祉学習会で介護保険制度やこれから増えると予想される認知症の学習にも取り組みたい。



「住民一人ひとりの声を大切に…」

中島自治会【千種町】

2年間の活動目標

“集まる”“考える”“楽しむ”をテーマに、住民だれもが参加できる企画やメニューを福祉連絡会で進めていき、その中心となる福祉委員の役割や取り組みについて、少しずつ形にしていきたい。連絡会が、住民が困っているときや緊急時（災害時）など“いざ”という時に“寄れる”組織として、日頃からつながりを深めていきたい。



全住民が参加できる機会づくりを～にぎり寿司教室～

福祉連絡会（組織づくり）

- ・代表福祉委員
（連絡会代表・民生委員児童委員兼務）
- ・自治会長（福祉委員兼務）
- ・福祉委員 4人
- ・副自治会長
- ・女性部長
- ・女性部副部長
- ・地域づくり学習委員
- ・老人クラブ会長、女性部長

福祉連絡会のメンバーは12人で構成

【人 口】	【世帯数】	【高齢化率】
106人	40世帯	37.7%

※人口等は26年9月末現在です。

《26年度の主な活動》

- 連絡会議の開催・・・計画づくり、喫茶・サロン打合せ、発表会準備、反省会等（年4回）
- 高齢者の見守り・・・ひとり暮らし高齢者への福祉委員の訪問（喫茶、サロン、行事等）
- 住民福祉学習会・・・地域づくり学習発表会でモデル地区の実践を報告。中島住民も多数参加
- 交流活動・・・ふれあい喫茶（年4回）、ふれあいサロン（ひとり暮らしの集い）を実施
- にぎり寿司教室・・・男性からの要望で全住民が集まれる機会として実施

活動の総括～成果や課題等～

福祉委員を中心とした「福祉連絡会」の組織をつくり、連絡会の関係者で話し合いながら活動を進めた。「ふれあいサロン」では、ひとり暮らし高齢者が参加できる機会をつくり、「にぎり寿司教室」は好評で27年度も開催の方向で進めたい。地域づくり学習発表会で千種町内の住民に活動が発信できたことは大きな成果である。27年度は訪問活動等、福祉委員の活動として定着したい。



ひとり暮らし高齢者の集まる機会を